



5月の園だより

令和3年5月1日

晴れ渡った空に新緑の青葉。すがすがしさをを感じる季節になりました。

子ども達も新しい環境にもずいぶん慣れ、好きな遊びを見つめて楽しむことができるようになりました。お外が気持ちがいい季節。外遊びも多く取り入れていきたいと思ひます。

歓迎遠足

日時：5月29日(土)

場所：えぼしスポーツの里(大芝生広場)

参加者：全園児とその保護者

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止になる場合があります。

SAKURA COLUMN

♪保育者の役割♪

保育者の役割は「子どもと環境をつなぐ」ことだと思います。環境が、子ども達にとって安心して過ごせる場か、楽しい場か、発達を促すにふさわしい場かを、常に念頭に置いて環境を構成します。特に発達については専門家ですから、保育室のゾーンの設定や遊具には、とても気を配ります。障害物のない広いフラットなスペースは、つまづくこともなく一見安全のようですが、そのような環境では子どもの空間認知能力は育ちません。赤ちゃんは生まれながらに様々な能力を備えています。段差を超えたり障害物をよけて通る経験を積みなければ、その能力は淘汰され、つまづきやすかったり、危険回避能力の弱い子どもに育ってしまいます。危険物は排除しますが、凹凸は敢えて残す環境設定に、保育者は日々奮闘しています。

お知らせ

6月2日(水)に歯科検診

6月11日(金)に園児健康診断を行います。

お休みされると、後日保護者の方に、直接病院で受診していただくこととなりますので、必ず出席されるようお願いいたします。

保育料の引き落とし日は、5月17日(月)です。

ご意見・ご要望

特にありませんでした。

避難訓練

4月30日(金)に避難訓練を行いました。

【5月の予定】

月	火	水	木	金	土
					1
3	4	5	6	7	8
10	11 英会話(月) みなとわくわく広場	12	13 体育教室(月・雪) みなとわくわく広場	14	15
17	18 みなとわくわく広場	19 誕生会	20 絵画教室(月) みなとわくわく広場	21	22
24 1号代休	25 みなとわくわく広場 英会話(月)	26	27 体育教室(月・雪) 絵画教室(月) みなとわくわく広場	28	29 歓迎遠足
31 交通安全指導(空)					



令和3年5月1日
みなとこども園

新緑が映える季節にも関わらず、今年もコロナの影響で自粛のゴールデンウィークになりそうです。引き続き、手洗い・うがいを励行しながら体調に留意するとともに、一日も早い収束を願いたいものです。

感染症対策



手洗い

外出先からの帰宅や調理の前後、食事の前にはこまめに石鹸やアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

うがい

のどの防御機能を高めるとともに、洗浄効果があります。手洗い同様に、外出から帰宅した際にはうがいも一緒に行いましょう。

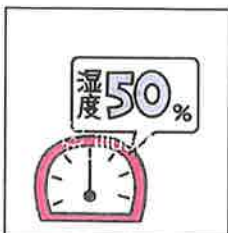


咳エチケット

咳やくしゃみなどを手で押さえると、その手で触ったところから、他の人へ病気を移す可能性があるため咳エチケットを行いましょう。

早寝・早起き・朝ご飯

十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ免疫力を高めましょう。



適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると喉の粘膜の防御機能が低下します。加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保ちましょう

3密(密閉空間、密集場所、密接場面)を避ける

「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」「不特定多数の人が接触する恐れが高い場所」においては集団感染のリスクが高くなります。そのため、不要不急の外出はなるべくひかえ、やむを得ず外出する際にはマスクの着用を徹底してください。

水分補給

大人の体は7割近くが水分です。乳幼児はさらにその割合が増え、生まれたばかりの乳児だと、なんと8割近くになります。その分、失われる水分量も多く、こまめな水分補給が必要になります。

Q & A

●いつ飲ませればいいのか？

起床時、就寝前、運動の前後、入浴前後など、汗をかく前と後に飲ませるのがよいでしょう。

●どのくらいの量がよい？

一度に大量を与えるのは避け、コップ1杯程度の量をこまめに与えましょう。

●何を飲ませればよい？

病気にかかっていなければ白湯や麦茶などがよいでしょう。糖分の多いジュースや、消化に時間のかかる牛乳、硬度の高いミネラルウォーターは、水分補給という点ではあまり適しません。失われた電解質を補充する時は、経口補水液が役立ちます。

乳児への水分補給

首がしっかりと座って離乳食を始める準備ができるようになったら、スプーンを使って、白湯などを少しずつ与えてみましょう。



紫外線対策

一昔前は、太陽の光を浴びて日焼けをするのは健康によいとされてきましたが、現在では過度の紫外線を浴びると肌に悪影響を及ぼすことが認知されてきています。屋外で遊ぶ機会の多い子どもにこそ、しっかりと紫外線対策を行いましょう。

日焼けの予防法

普段から帽子をかぶる習慣を付けたり、日差しの強い季節はUVクリームを塗ったり、UV加工を施した服を着用するなどの対策をしましょう。それでも日焼けをしてしまったら、冷やしたタオルなどで患部をしっかりと冷やしましょう。



爪はきれいかな？



子どもたちは様々な物に触れるため、爪（つめ）の中に汚れが入ったり、伸びていると欠けたりしてしまいます。汚れが溜まると炎症を起こし、爪の病気になってしまうので、手洗いで落としきれない汚れは、お風呂できれいに落としてあげましょう。



また、爪が長いとどこかにひっかけてしまったり、お友達を傷付けてしまうことにもなりかねません。おうちでは定期的に切ってくださいるようにお願いいたします。